



The 42nd Business Report

第42期 報告書 平成30年1月1日～平成30年12月31日

BP カストロール株式会社



平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。
ここに、BPカストロール株式会社「第42期 報告書」をお届けいたします。

■ 当期の概況

当期は、中期5ヶ年計画(2018-2022)の1年目に当たりますが、成長に向けた取り組みとして掲げた戦略の実践・土台作りに努めてまいりました。

販売面では、引き続き環境配慮型の低粘度・省燃費プレミアムエンジンオイル、トランスミッションオイルの積極的な拡販、オイル交換時に手軽にエンジン内部を洗浄できるという特長を持つエンジンシャンプーを中心としたエンジンオイル関連製品の拡販に注力いたしました。

差別化した製品面では、2015年にカーディーラー販売網向け製品に取り入れ推進してきた「CO₂ニュートラル^(※)」コンセプトを、2018年3月より小売販売網向けに拡大展開し環境への配慮を表す特色として前面に出しながら、旗艦製品である「カストロールエッジ」及び「カストロールマグナテック」ブランドを中心に製品付加価値の訴求を行いました。

新商品では、市場が拡大しているSUV(Sports Utility

Vehicle)向けの需要に応えるべく「カストロールマグナテックSUV 0W20」を小売販売網向けに発売いたしました。

これらブランド品の販売推進活動に加え、2018年10月からオートバックス向けPB(プライベートブランド)のエンジンオイル製品供給を開始いたしました。

利益面では、原油価格は総じて上昇の動きが見られ、更に円安の傾向が継続し、経営環境は厳しい状況で推移いたしました。

これらの結果、当事業年度における売上高は12,681百万円、営業利益は2,433百万円、経常利益は2,462百万円、当期純利益は1,649百万円となりました。

当期の期末配当につきましては、業績及び配当方針に基づき1株当たり43円とさせていただきます。

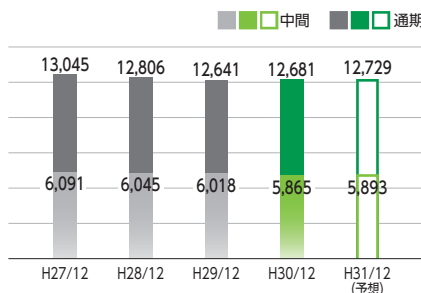
(※)CO₂ニュートラルとは、製品から排出されるCO₂のうち自らの活動だけでは削除できない分を、温室効果ガス排出削減プロジェクトへの投資活動を通じ相殺し、大気中に排出されるCO₂を実質ゼロにする取り組みです。

■ 次期の見通し

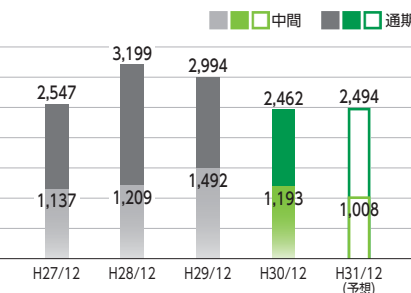
国内経済は、政府による各種政策などにより、景気は緩やかな回復基調で推移していくと推測されますが、予定されており消費増税や通商問題の動向が世界経済に与

財務ハイライト Financial Highlights

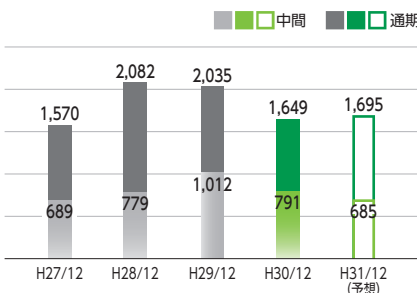
売上高 単位：百万円



経常利益 単位：百万円



当期(四半期)純利益 単位：百万円



える影響、海外経済の不確実性など先行きは未だ不透明で予断を許さない状況にあります。

このような経済環境の下、自動車用潤滑油市場全体としては新たな需要の押し上げ要因は見当たらず、引き続き売上数量・売上高は減少傾向が継続すると予測しております。

しかしながら当社といたしましては、次年度へ向けて、環境配慮型の低粘度・省燃費商品の拡販、マーケットニーズに合致した新商品の導入、プレミアム商品の消費者への更なる訴求、新規取扱店の拡大に加え、引き続き原価低減・コスト削減に注力することにより、売上高は12,729百万円、経常利益は2,494百万円、当期純利益は1,695百万円を計画しております。

事業環境は依然として厳しく不透明要素がありますが、2022年に向けて売上高が上昇曲線となるようマーケティングおよび販売戦略をさらに強化し、計画を達成できるよう日々取り組んでまいります。

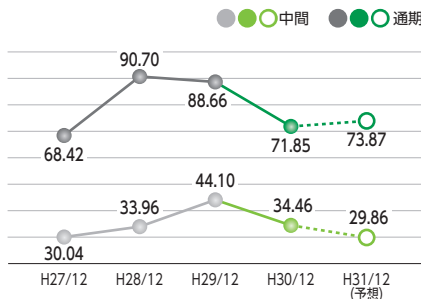
株主の皆様におかれましては、今後とも、「Castrol」ブランドおよび「BP」ブランドへの変わらぬご愛顧と、当社へのより一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。



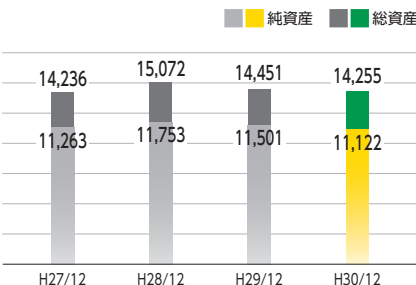
BPカストロール株式会社

代表取締役社長 小石 孝之

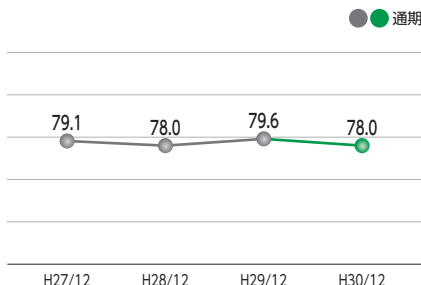
1株当たり当期(四半期)純利益 単位:円



純資産/総資産 単位:百万円



自己資本比率 単位:%



MAGNATEC SUV 0W-20 / GTX ULTRACLEAN 0W-20 2018年10月発売

2018年10月に2つの新商品を発売いたしましたのでお知らせいたします。

一つ目は、MAGNATECブランドから、多目的走行により一般車に比べエンジンへの負担が大きい傾向にあるSUVに最適なエンジンオイル「MAGNATEC SUV 0W-20」を発売いたしました。近年人気車種として注目され、今後も保有台数の拡大が見込まれるSUVをターゲットにした付加価値のある商品の導入にて、市場の活性化を図ってまいります。

二つ目は、「GTX ULTRACLEAN 0W-20」です。省燃費オイルの代名詞でもある“0W-20”は、2018年度においても新車販売台数の90%以上は0W-20以下の低粘度推奨となっております。ロングセラーであるGTXに0W-20を追加することにより、お客様に幅広い選択肢を提供いたします。



カストロール エッジ 年末プロモーション

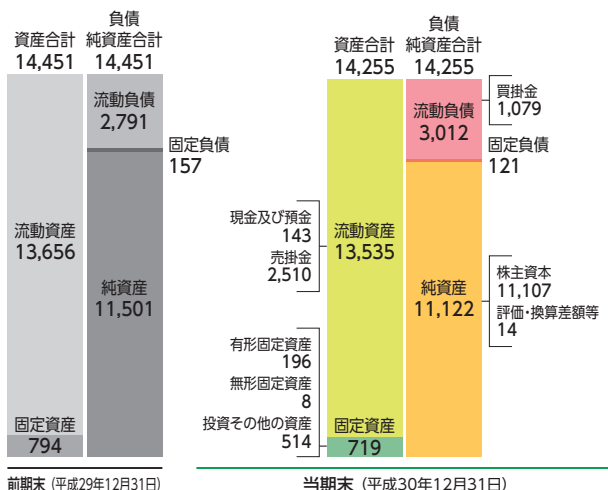
年末の最需要期にカーショップチャンネルにおいて、全合成油“カストロール エッジ”に焦点をあてた店頭プロモーションを実施いたしました。最上位ブランド“カストロール エッジ”のユーザーを更に拡大するために、オリジナルの景品“選べるエコグッズ”を採用したプロモーションにてトライアルおよびリピート購入を促進いたしました。

このプロモーションにより、12月は前年比105%（販売量）を達成することができました。成熟した市場環境にありながらも、高単価・高付加価値商品ユーザーの拡大を促進することで、当社ビジネスの継続的な成長を目指してまいります。

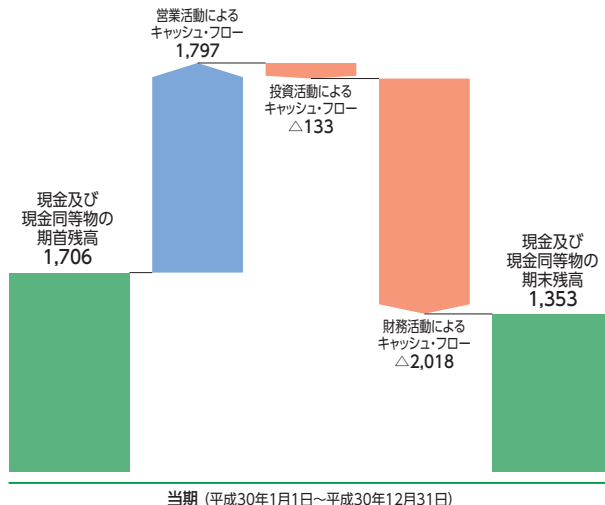


● 単位：百万円、百万円未満切り捨て

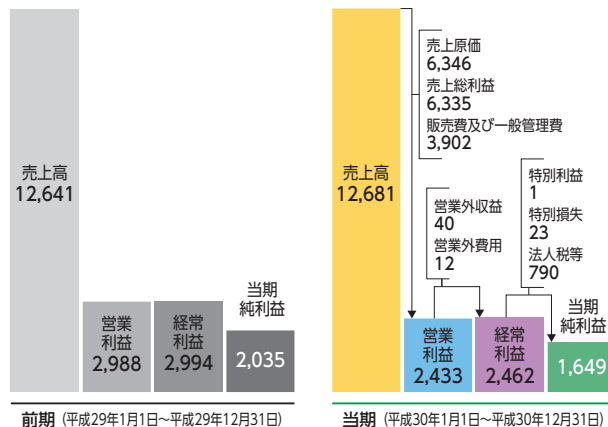
貸借対照表の概要



キャッシュ・フロー計算書の概要



損益計算書の概要



● 売上高

売上高は、環境配慮型の低粘度・省燃費のプレミアムエンジンオイル、トランスミッションオイルの積極的な拡販に引き続き焦点を当てました。また、小売販売網向けにも「CO₂ニュートラル」コンセプトを拡大展開し、製品付加価値の訴求などに取り組むことで12,681百万円となりました。

● 純資産

純資産の残高は、11,122百万円(前事業年度末は11,501百万円)となり、379百万円減少いたしました。これは、主に利益剰余金が当期純利益により1,649百万円増加し、剰余金の配当により2,020百万円減少したことによるものです。

● 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果得られた資金は、1,797百万円(前年同期比108百万円の増加)となりました。

これは、主に税引前当期純利益が2,440百万円、減価償却費の計上が116百万円であり、また仕入債務の増加167百万円により資金が増加した一方、たな卸資産の増加145百万円及び法人税等の支払額728百万円により資金が減少したことによるものです。

● 平成30年12月31日現在

会社の概況

商号	ビーピー・カストロール株式会社 英文名:BP Castrol K.K.
本社	〒141-0032 東京都品川区大崎1-11-2 ゲートシティ大崎 イーストタワー20階 TEL:03-5719-6000(代)
設立	1978年9月
事業内容	英国の石油会社BP p.l.c.が持つCastrolブランド およびBPブランドの自動車用潤滑油を日本市場 に合わせて製造・販売
資本金	14億91百万円
従業員数	110名(20名) (注)臨時従業員数は、()内に年間の平均人数を外数で記載 しております。
子会社	ビーピー・ルブリカンツ株式会社 カストロール株式会社

役員

平成31年3月26日現在

取締役会長	チャールズ・ポッスルズ
代表取締役社長	小石 孝之 カストロール株式会社代表取締役社長兼務 ビーピー・ルブリカンツ株式会社代表取締役社長兼務
取締役副社長	平川 雅規
取締役	長浜 靖子
取締役	渡辺 克己
取締役(監査等委員)	東松 国明
取締役(社外、監査等委員)	松竹 直喜
取締役(社外、監査等委員)	望月 文夫

株式の概況

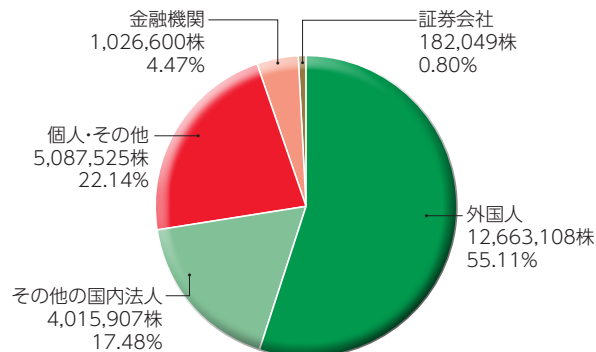
発行可能株式総数	118,000,000株
発行済株式の総数	22,975,189株
株主数	8,950名

大株主の状況

株主名	持株数(株)	出資比率(%)
カストロール・リミテッド	12,234,273	53.29
ティー・ジェイ株式会社	2,661,748	11.59
日本自動車整備商工組合連合会	1,144,512	4.99
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	297,400	1.30
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	176,900	0.77
UBS AG LONDON ASIA EQUITIES	160,801	0.70
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口5)	139,200	0.61
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口1)	118,600	0.52
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口2)	111,300	0.48
鈴木 育男	110,000	0.48

(注)持株比率は、自己株式17,371株を控除して計算しています。

所有者別株式分布状況



株主メモ

事業年度	毎年1月1日から12月31日まで	
定時株主総会	毎年3月	
基準日	定時株主総会	12月31日
	期末配当金	12月31日
	中間配当金	6月30日
公告方法	電子公告とします。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。	
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社	
特別口座の 口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社	
郵便物送付先 (電話照会先)	東京都杉並区和泉二丁目8番4号 (〒168-0063) 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話0120-782-031 (フリーダイヤル) 取次事務は三井住友信託銀行株式会社の本店及び 全国各支店で行っております。	

●住所変更、単元未満株式の買取、配当金の受取方法のご指定等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
なお、証券会社等に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

●未払配当金の支払について

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

●配当金計算書の送付について

配当金のお支払いの際に送付しております「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告される際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。

ただし、株式数比例配分方式をご選択いただいている株主様につきましては、源泉徴収税額の計算は証券会社等にて行われます。確定申告を行う際の添付資料につきましては、お取引の証券会社等にご確認をお願いします。

なお、配当金領収証にて配当金をお受取りの株主様につきましても、配当金のお支払いの都度「配当金計算書」を同封させていただいております。確定申告をなされる株主様は大切に保管ください。

マイナンバーに関するお知らせ

市区町村から通知されたマイナンバーは、株式の税務関係のお手続きで必要となります。

このため、株主様から株式をお預けの証券会社などへ、マイナンバーをお届出いただく必要がございます。

株式関係業務におけるマイナンバーの利用

法令に定められたとおり、税務署へ提出する支払調書には、株主様のマイナンバーの記載が必要になります。

主な支払調書

- ・配当金に関する支払調書
- ・単元未満株式の買取請求など株式の譲渡取引に関する支払調書

マイナンバーのお届出に関するお問い合わせ先

証券会社にて株式をお預けの株主様

株式をお預けの証券会社までお問い合わせください。

証券会社にて株式をお預けでない株主様

三井住友信託銀行株式会社 証券代行部までお問い合わせください。

☎0120-782-031

表紙写真：ルノーF1 BP p.l.c.は、ルノーF1チームにBPブランドの燃料油とCastrolブランドの潤滑油を供給しています。

BP カストロール株式会社

本社 IR担当 〒141-0032 東京都品川区大崎1-11-2 ゲートシティ大崎 イーストタワー20階
TEL:03-5719-7750
URL:<http://www.bpcastrol.com>

証券コード 5015



見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。
森林に配慮して適切に管理された森林認証紙を使用し、環境に優しい植物油インキで印刷
するとともに、針金を使わない「ECO綴じ」製本を採用しています。